

地域キャンパス校とは

北海道だけの独自制度

地域の高校の存続に向けた制度であり、他の高校への通学が困難な地域があり、かつ地元からの進学率が高い高校を指定し、同一通学区域内のセンター校等からの出張授業や遠隔授業などの連携した教育活動により、教育機能の維持向上を図るものです。

なお、「地域キャンパス校」は、校長および教頭が配置され、独自の教育課程を編成している高校であり、いわゆる「分校」ではありません。

管内の地域キャンパス校の状況とそのセンター校の一覧

導入年度	平成 21 年度	平成 21 年度	平成 21 年度	平成 24 年度	平成 27 年度	平成 30 年度
地域キャンパス校	常呂	清里	興部	津別	佐呂間	雄武
センター校	北見北斗	網走 南ヶ丘	紋別	美幌	北見柏陽	紋別

連携の内容

授業に関する連携

遠隔授業 両校間における双方向通信の機能を活用して行う授業

授業以外の連携

生徒会の交流や合同の部活動、教員の研修等を実施しています

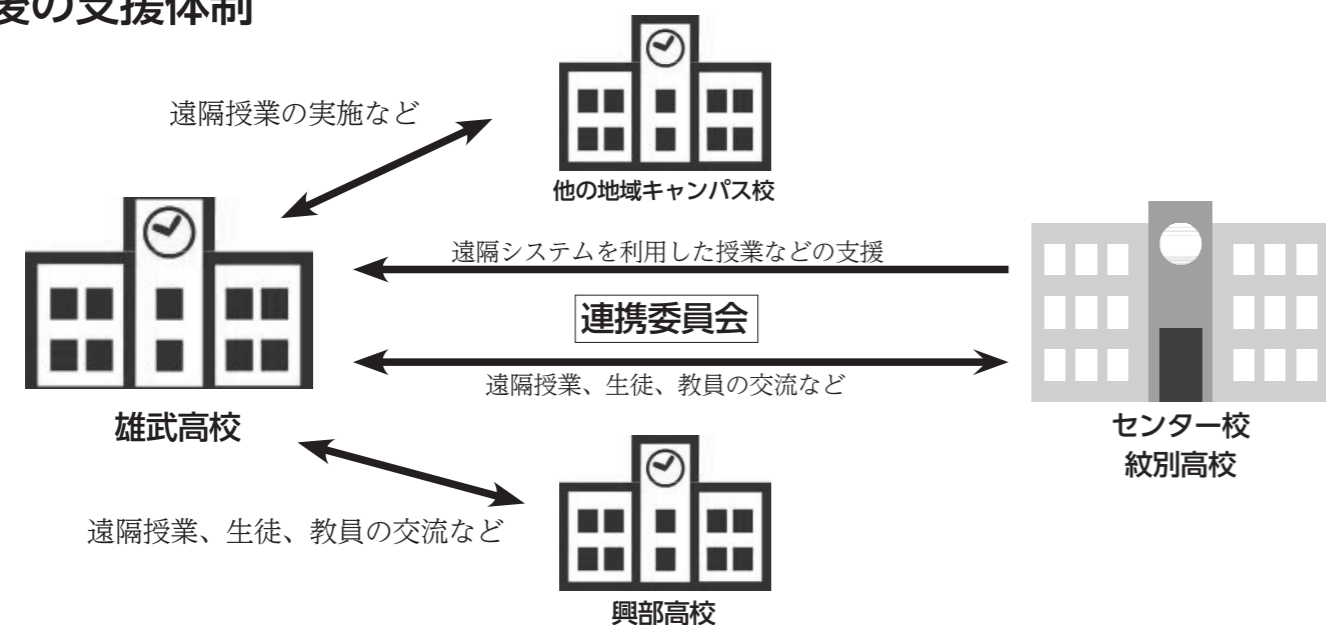
連携委員会

両校の代表による委員会で、連携の在り方などについて協議します

センター校（「地域連携協力校」に名称変更予定）の紋別高校のほか、同じく地域キャンパスである近隣の興部高校とも遠隔授業や生徒、教員の交流等に取り組むこととしており、地域の3校が一体となって魅力ある教育活動を推進することとしています。

さらには、興部高校以外の地域キャンパス校などと、様々な連携した教育活動を推進することや、都市部の規模の大きな高校から遠隔システムによる進路希望に応じた授業等の実施についても検討することとしています。

今後の支援体制



雄武高校が今春から

地域キャンパス校

になります

雄武高校が、平成 29 年 9 月に策定された公立高等学校配置計画に基づき、平成 30 年度から「地域キャンパス校」（平成 30 年度から「地域連携特例校」に名称変更予定）になり、教育機能の維持向上が図られることになりました。

